

インタビューのキャッチコピー

空き家活用計画

インタビューした人の名前 / 所属

割石 和孝 / 割石工務店

インタビューした人の説明

割石和孝さんは、割石工務店の代表取締役で、
壱岐の空き屋活用の活動をしています。
最近、空き屋を買って、テレワークセンターとして活用するいう活動しているそうです。

チーム名

あおば班



インタビューシート (いままで→いま)

チーム番号



■タイトル *このインタビューシートで最もワクワクしたことをキーワードに作成しよう

売岐の空き家活用の現実

■「いままで」と「いま」のインタビュー *インタビューで聞いたこと、また聞いて感じたこと（気づき）を整理しよう

売岐の空き家: 1000軒以上!

↓
空き家バンクに登録。

島外の人に買ってもらうの中心。

しかし 契約などは個人でしないといけない。 うまくいかない...

↓
「家町」という団体が手助け

現状

それでも空き家を

活用できていない!

Think Next! →

インタビューシート (いま→これから)

チーム番号



- タイトル *このインタビューシートで最もワクワクしたことをキーワードに作成しよう

空き家活用計画

- 「これから」に向けてのインタビュー *インタビューで聞いたこと、また聞いて感じたこと（気づき）を整理しよう

壱岐の空き家活用の具体的な計画



「テレワークセンターとしての活用!!」

コロナ禍で高まったテレワーク需要に焦点を当て
壱岐の静かで美しい環境の中で仕事ができるよう
にすることで島外の人を呼びこむ!

Think Next! → →

■つくりたい未来のタイトル

空き家活用計画

■いままで

(イラスト)



(言葉)

「いままでは…人々は〇〇だった」の例で…

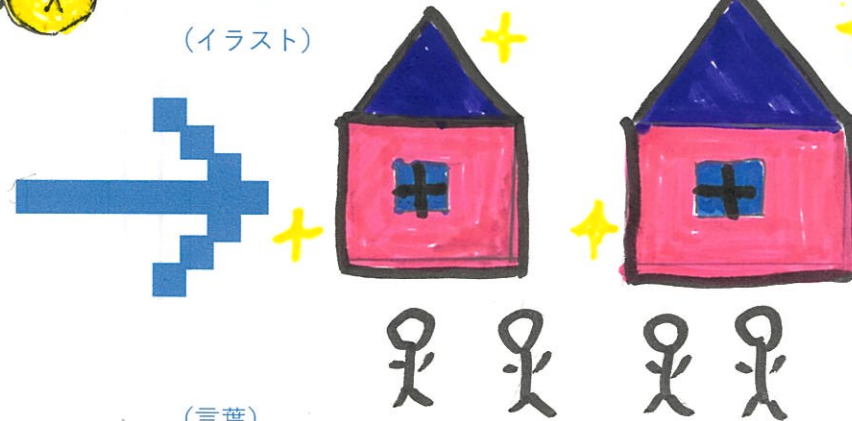
「いままでは、壺岐の空き屋は活用されてこなかった。」

空き家一杯 



■未来

(イラスト)



(言葉)

「これからは…人々が〇〇な未来」の例で…

「これからは、壺岐の空き屋をじんじん活用していき、活気の溢れる市にする。」

活用!

■つくりたい未来につながった気づき (なぜ、その未来をつくりたいと思ったのか?)

壺岐には娯楽が少なく、空き家を活用することでそういった施設を増やせないかと思ったから。